学校番号	3037

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学特論	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	数学Ｃ（数研出版）						
副教材等	4STEP　数学Ⅲ+C　［複素数平面、式と曲線］　（数研出版） チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A、数学Ⅱ＋B、数学Ⅲ＋C　（数研出版） スタンダード　数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、まず講義で基本的な内容や解法を理解してもらいます。また、問題演習も随時取り入れ、自分で考え、周りの人と協働で考える活動も行います。課題解決のため、結果を予想し、よりよい解決方法を自分で考え、解決していくようにしてください。
・問題集用のノートを用意し、問題集の問題を自分で解いてください。また、各自答えあわせをして、自分がどこまで理解できており、どこでつまずいているのかを把握したうえで、授業に臨んでください。
・家庭学習における課題を定期的に提出してもらいます。計画的な学習習慣を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Cの発展的な知識を身に付け、技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察し表現する能力を養い、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにするとともに、それらを的確に活用する態度を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
数学に関する事象や課題に向き合うことで、粘り強く課題の解決に挑戦しようとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Cの内容において、発展的な知識を身につけている。また、事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Cの内容において、事象を多角的、複合的に捉え、数学的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Cの内容における考え方に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを進んで活用しようとする。また、自分自身の学習についての振り返りを行い、評価・改善をしようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	数学C演習	・ベクトル ・平面上の曲線と複素数平面	a：発展的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、事象を表現・処理する技能を身につけている。 b：事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c：学習内容に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 小テスト 提出課題	提出課題 観察
二学期	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B演習	・数と式 ・2次関数 ・図形と計量 ・データの分析 ・場合の数と確率 ・図形の性質 ・いろいろな式 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指数・対数関数 ・微分・積分の考え ・数列 ・統計的な推測		定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 小テスト 提出課題	提出課題 観察
三学期	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・C演習	総合演習		小テスト 提出課題	小テスト 提出課題	提出課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度